

【事業の概要】

〔事業名〕『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる地域人材育成

〔取組の概要〕

平成 26 年度地（知）の拠点整備事業で採択された本事業では、伊勢志摩圏域の 3 市 5 町が参画する「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の課題を踏まえ、圏域の歴史文化観光資源、自然環境定住資源、地域経済・産業等を活かした総合学修プログラム『伊勢志摩定住自立圏共生学』（4 科目）を開発し、学部学生が主体的に地域資源や圏域の現況と課題を学び、その中で圏域内自治体職員や職業人と協働して、新事業創出（6 次産業化）の方法等について学修できる新たな教育課程の構築をめざす。

また、基盤的学修となる現在の 1 年次全学必修「伊勢学」を改善し、圏域の資源や課題を学ぶ全学必修「伊勢志摩共生学」（2 単位）に拡充する。さらに「地域課題学修支援室」を整備し、圏域をフィールドにした実習科目（1 単位）の新設実施、および、各学科専門科目と圏域の課題解決学修の総合化を図る「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」（4 単位×2 / 3・4 年次）を開設する。

〔事業の目的〕

本事業の全体の目的は、地域の定住機能の新たな在り方を自らの課題として捉え行動できるアクティブ・シチズンの育成とそのためのカリキュラム改革・学士課程教育の質的転換であり、具体的には以下の通りである。

I. 教育

大学、自治体及び産業界が、各々が有する異なる教育資源を補完し合って、圏域の将来問題を多面的に捉え主体的に行動できる人材養成のための教育プログラムを協働して開発し、学部学生や自治体職員・産業従事者に対してプログラムを実際に運用することを通じて、伊勢志摩定住自立圏全体で人口定住のために必要な生活機能を確保し、地域の活性化と発展を図ることである。このような取組みは、他の地方大学・短大や自治体・産業界等にとっても必ず利用可能な実践事例となることが期待できる。

II. 研究等

圏域自治体の「生活機能の強化」、「ネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」に関して、1) 歴史文化観光資源領域 / 2) 自然環境定住資源領域 / 3) 地域経済・産業領域 / 4) 地域福祉・教育資源領域、この 4 つの領域をプロジェクト研究の当面のフレームワークとし、学部・学科等の専門領域を超えて学際的に対応する。「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議や圏域各エリアでの COC 活動拠点 CLL での事業推進活動を通じて得られた定住自立圏共生ビジョンに沿った個別・具体の研究課題に取り組むことで、圏域の定住自立機能の新たな在り方を推進することができる。

III. 社会貢献

「地域連携推進室」が、本事業において自治体・産業界等との連携協定に基づく社会貢献事業を一体的に管理及び推進することにより、1) 歴史文化観光資源領域 / 2) 自然環境定住資源領域 / 3) 地域経済・産業領域 / 4) 地域福祉・教育資源領域、この 4 つの領域における学生及び教員による地域貢献活動件数や参加人数を向上させるとともに、三重県内の企業・団体等へのインターンシップ派遣企業数・派遣学生数をも向上させることで、地域への定住を促し、地域再生・活性化を推進することができる。

IV. 全体

平成 26 年度事業計画

本事業で開発した『伊勢志摩定住自立圏共生学』を学部横断的な副専攻プログラムとして教育課程の中に位置づけることにより地域志向大学としての教育改革・ガバナンス改革を推進する。このことにより学生は、所属する各学部の専門科目を学びつつ、伊勢志摩圏域の現況・課題・将来ビジョンを社会人と協働して実践的に学び、卒業後圏域に定住してその将来を担う人材として成長し、地域産業界・行政機関・教育界等で活躍することが期待できる。また、同プログラムを社会人に対しては履修証明プログラムとして活用することで、地域振興に取り組む社会人の学び直しの機会を提供する計画である。

平成 26 年度事業計画

〔本年度の事業計画〕 月欄の*印は補助事業採択前、**印は採択通知後補助金交付内定前。

補助金交付内定：9月26日

※補助金調書における「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」の開催予定【①関係】

9月2回、10月2回、11月2回、12月2回、2月1回、3月1回 計10回開催
⇒補助金交付内定予定約1ヶ月遅延による開催日程調整後の開催予定（下記の表の計画）

※補助金調書における自己点検・評価及び外部評価委員会の開催予定【⑧・⑨関係】

8月、3月

⇒補助金交付内定予定約1ヶ月遅延による開催日程調整後の開催予定（下記の表の計画）

※補助金調書における他大学COC整備事業及び他人口減少地域における定住自立施策先行例視察（4箇所程度）視察予定【⑥関係】

9月、10月

⇒補助金交付内定予定約1ヶ月遅延及び視察先調整等による視察日程調整後の視察予定（下記の表の計画）

月	番号	事業計画（部分補助金対象外）
*	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第1回の開催（6月5日） 【議題】『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる地域人材育成の概要について／「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議規程（案）について
**	⑥	他大学COC整備事業及び他人口減少地域における定住自立施策先行例視察（4箇所程度） （1）：滋賀県立大学（9月4日）
**		（指摘事項⑤への対応） 「大学の方針として全学的に地域志向を進めることについて」教授会（9月3日）において学長より全教員に対して周知した。 全学生に対しては、9月19日の春学期成績通知書配布時に学長名の印刷物を配布して周知した。 職員に対してはSD研修時（8月11日）に周知した。 教員に対するFDは、全教員を対象に9月24日（教授会終了後）に開催した。
**	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第2回の開催（9月5日） 【議題】『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（Ⅰ～Ⅳ科目）について：人材育成目標、科目構成・学修内容／「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議への三重銀総研の参加について／CLLの設定について／圏域内視察について／自己点検・評価及び外部評価体制（案）について／今後の検討課題について／運営会議日程（案）について
**	計画外	COC事業採択校情報交換会出席（岐阜大学他13校）（9月10日）
**	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第3回の開催（9月25日） 【議題】運営会議日程（案）について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅰ・Ⅱ）について：担当自治体、内容、授業形式／CLLの設定について：候補場所の検討／圏域内視察について：視察先の検討／『伊勢志摩定住自立圏共生学』Webページ開設について／社会人募集要項の履修条件等について
**		（指摘事項⑥への対応）※COC事業本部、教育開発センター、研究開発センター及び地域連携室の役割分担と連携体制を確立 地域課題学修支援室規程（9月末制定予定）
10月	②	「地域課題学修支援室」に事務補助員1名採用、「地域課題学修支援室」開設。
	⑦	「地域連携推進室」に事務補助員1名採用。
	⑥	他大学COC整備事業及び他人口減少地域における定住自立施策先行例視察（4箇所程度） （2）：岩手大学（10月9・10日）
	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第4回の開催（10月2日）*中止

平成 26 年度事業計画

月	番号	事業計画（部分補助金対象外）
	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 4 回の開催（10 月 23 日） 【議題】『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅰ・Ⅱ）について：各自治体調整内容報告・意見交換／C L L の設定について：各自治体調整内容報告・意見交換／圏域内視察について：各自治体調整内容報告・意見交換／自己点検・評価及び外部評価委員会について
	③	圏域内視察（延べ 3 日間） （指摘事項⑥への対応）※C O C 事業本部、教育開発センター、研究開発センター及び地域連携室の役割分担と連携体制を確立 C L L 運営規程（10 月末制定予定）
11 月	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 5 回の開催（11 月 6 日） 【議題】『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム内容について：科目Ⅰ・Ⅱ各自治体調整内容報告・意見交換・各自治体担当時期調整／C L L 候補場所の視察について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム開発圏域内視察について：各自治体調整内容報告・本学の提案・意見交換・視察方法と時期の変更／伊勢志摩定住自立圏に関する基礎的研究について（平成 27 年度～平成 29 年度／学内研究資金申請による）
	⑧⑨	自己点検・評価及び外部評価委員会の開催（11 月 15 日）＊事業計画
	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 6 回の開催（11 月 20 日） 【議題】『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅲ・Ⅳ）について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅰ・Ⅱ）内容・担当等調整／C L L 候補場所の調整及び視察日調整／『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム開発圏域内視察最終調整と実施日時について／その他
12 月	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 7 回の開催（12 月 4 日） 【議題】『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅰ～Ⅳ）について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』Web ページ（12 月公開部分）内容と体裁について／圏域内視察とC L L 候補場所視察の実施について／その他
	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 8 回の開催（12 月 18 日） 【議題】平成 27 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅰ～Ⅳ）シラバス作成について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』パンフレットの作成について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』Web ページ学修プラットフォーム（3 月公開部分）の機能・内容について／先行事例視察（4）（5）の実施について／その他
	⑥	他大学 C O C 整備事業及び他人口減少地域における定住自立施策先行例視察（4 箇所程度）（3）：島根大学、島根県中山間地域研究センター（12 月 16・17 日）
	④	各圏域エリアでの C O C 活動拠点”Community Learning Labo（C L L）” 7 箇所設定
	⑤	教育課程システム変更
	⑩	『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）開設
2 月	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 9 回の開催（2 月 19 日） 【議題】平成 27 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム（科目Ⅰ～Ⅳ）担当者等確定／『伊勢志摩定住自立圏共生学』パンフレット内容・体裁決定／平成 27 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』（科目Ⅲ・Ⅳ）社会人受講生募集要項作成について／『伊勢志摩定住自立圏共生学』Web ページ学修プラットフォーム（3 月公開部分）の機能・内容について／平成 27 年度事業計画及び補助金調書について／その他
	⑥	他大学 C O C 整備事業及び他人口減少地域における定住自立施策先行例視察（4 箇所程度）（4）（5）：信州大学、長崎県立大学
	⑪	『伊勢志摩』定住自立圏共生学』パンフレット作成

平成 26 年度事業計画

月	番号	事業計画（ 部分補助金対象外）
3 月	①	「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」第 10 回の開催（3 月 12 日） 【議題】自己点検・評価及び外部評価委員会（3 月）の開催について／平成 26 年度事業報告書（自己点検・評価・外部評価委員会報告書）の作成・公表について／その他
	⑩	『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）学修プラットフォーム機能構築
	⑫	『伊勢志摩』定住自立圏共生学』平成 27 年度社会人受講生募集要項作成 （指摘事項⑥への対応）※教育開発センターに雇用する 3 名の特命教員がその職務を確実に遂行できるようなバックアップ体制を整備
	⑧⑨	自己点検・評価及び外部評価委員会の開催 *事業報告
	⑬	一年目事業報告書の作成・公表

平成 26 年度事業計画

〔平成 26 年度の事業内容〕

区分	番号	事業計画
教育	①	<p>『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目の教育プログラム開発、圏域の課題に対応した授業計画（シラバス）作成を行う。</p> <p>（「伊勢志摩定住自立圏共生学」4科目の主な学修内容）</p> <p>科目1) 歴史文化観光資源、定住環境資源の現況の共通理解と活用・情報発信等課題解決</p> <p>科目2) 地域経済・産業の現況の共通理解と人材養成・雇用環境等課題解決</p> <p>科目3) 1・2・3次産業基本論（食品加工、フードシステム、フードコーディネーター、物質・エネルギー利用型地域資源利用、サービス提供型地域資源利用等）</p> <p>科目4) 6次産業化実践論（行政機関における支援策、輸外型・海外型・食品系・非食品系6次産業事例研究等）</p> <p>科目1・2について自治体サイドの話題提供者（ゲスト講師）の選定と担当回の決定、学内担当教員担当回数・内容決定</p> <p>科目1～4について平成27年4月就任予定特命教員と担当講義回数・内容打ち合わせ</p> <p>科目3及び4の授業設計に当たっては、平成22年及び平成23年に株式会社三菱総合研究所が、「新事業人材育成事業」（農林水産省）で作成した4種類の教材を参照しつつ、三重銀総研（地元金融機関のシンクタンク）の地域産業振興・人材育成に関する教育資源を活用する。科目3・4について三重銀総研とテキスト、科目内容開講日時等について打ち合わせ（9月末まで）、三菱総研テキスト利用許諾手続きを行う。</p>
	②	<p>本事業推進のために、教育開発センターに「地域課題学修支援室」を開設する（開設場所：9号館2階旧社会福祉学部学科研究室）。同支援室規程、機器備品等整備。新たに設ける「地域課題学修支援室」に事務補助員1名を配置（平成26年10月～）する。</p>
	③	<p>「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」構成員で圏域内の「歴史文化観光資源」、「自然環境定住資源」「地域経済・産業資源」等の視察を行い、圏域内の先進事例や課題等を共有し、『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目の教育プログラム開発、「伊勢志摩共生学実習1～4（地域インターンシップ含む）」開講等、本事業の取組を推進する（延べ3日間）。</p>
	④	<p>各圏域エリアにおいて自治体と協議の上、COC活動拠点”Community Learning Labo（CLL）”7箇所設定し、フィールドワークの実施、課題研究、社会貢献活動等の活動計画を立案する。</p>
	⑤	<p>教育課程システム変更。『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目（平成27年度開講）、「伊勢志摩共生学」、「伊勢志摩共生学実習1～4（地域インターンシップ含む）」（以上、平成28年度開講）、「プロジェクト研究Ⅰ＜3年次＞」（平成30年度開講）、「プロジェクト研究Ⅱ＜4年次＞」（平成31年度開講）のため、必要な教務システム登録変更を行う。</p>
研究等	⑥	<p>人口減少と少子高齢化の進行に伴い、地域を支える人材力や産業が衰退し、地域活力が低下しつつある地域で、人材育成や産業振興（特に6次産業化）の課題解決に取り組んでいる他大学のCOC整備事業や他人口減少地域における定住自立施策先行事例を視察（4箇所程度）することで、それらの取組を本事業の地域課題研究、教育等に活用する。</p>
社会貢献	⑦	<p>本事業推進及び「伊勢志摩定住自立圏運営会議」運営を担う「地域連携推進室」に事務補助員1名を配置（平成26年10月～）することで、本事業における自治体・産業界等との連携協定に基づく社会貢献事業をなお一層一体的に推進する。</p>
全体	⑧	<p>自己点検・評価委員会において当該年度の事業計画を点検し、年度末に当該年度の事業結果・成果を評価する。</p>
	⑨	<p>外部評価委員会において外部評価委員からのご意見等を事業計画に反映させるとともに、当該年度の事業結果・成果を評価していただく。</p>

平成 26 年度事業計画

区分	番号	事業計画
	⑩	『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）を開設する。本ホームページでは、運営会議議事・活動内容等の事業進捗状況をタイムリーに情報公開するとともに、本事業における『伊勢志摩定住自立圏共生学』等教育プログラムのプラットフォームとして、学修支援機能（シラバス、授業資料等掲出、教員学生間の質問・応答機能等）や研究情報・社会貢献活動情報公開機能を持たせる。
	⑪	「平成 26 年度地（知）の拠点整備事業『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる地域人材育成」事業のパンフレットを作成する。
	⑫	『伊勢志摩』定住自立圏共生学』平成 27 年度社会人受講生募集要項を作成する。
	⑬	自己点検委員会において事業計画一年目の事業報告書を作成し、外部評価委員の意見を付した上で外部に公表する。

〔次年度以降の事業計画〕

(27年度)

I. 教育

- ①「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」開催（6回）
『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目の次年度授業計画（シラバス）作成／授業担当者確定／次年度社会人受講生募集要項等印刷物作成等
- ②教育開発センターの「地域課題学修支援室」に特命教員3名を配置する（4月～）
- ③圏域各エリア”Community Learning Labo（CLL）”における事業推進活動
- ④学部生対象『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目の実施、『伊勢志摩定住自立圏共生学』への自治体職員等社会人の受入れ実施（科目等履修生）
- ⑤平成28年度開講に向け、「伊勢学」の内容を拡充し、「伊勢志摩共生学」へ改善する
- ⑥「伊勢志摩共生学実習1～4」の教育内容検討と決定。「地域インターンシップ」受入れ市町と実施内容検討・決定

II. 研究等

- ⑦研究開発推進センターの「プロジェクト研究部門」において、1）歴史文化観光資源領域、2）自然環境定住資源領域、3）地域経済・産業領域、4）地域福祉・教育資源領域の4つの領域で定住自立圏形成のための資源の総合化について研究を実施する。具体的には、「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議や圏域各エリアでのCOC活動拠点CLLでの事業推進活動を通じて得られた個別・具体の課題に対して、COC実施本部長（学長）のリーダーシップ及び、COC実施本部による研究コーディネートにより、本学教員による共同研究の他、本学教員と圏域の自治体との共同研究等を開始する。この研究内容を、『伊勢志摩定住自立圏共生学』等の教育プログラム内容の充実にも活用する。

III. 社会貢献

- ⑧本運営会議及び本事業推進を担う「地域連携推進室」に専任職員1名を配置する（4月～）

IV. 全体

- ⑨『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）の運営
- ⑩第1回本事業取組み内容公表シンポジウム開催（9月）
- ⑪自己点検・評価委員会の開催（5月・3月）
- ⑫外部評価委員委嘱、外部評価委員会開催（5月・3月）
- ⑬二年目事業報告書の作成・公表（3月）

(28年度)

I. 教育

- ①「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」開催（4回）
『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目の次年度授業計画（シラバス）作成／授業担当者確定／次年度社会人受講生募集要項等印刷物作成等
- ②圏域各エリア”Community Learning Labo（CLL）”における事業推進活動
- ③教育課程システム変更
平成29年度より『伊勢志摩定住自立圏共生学』の副専攻化、履修証明プログラム化のため
- ④学部生対象『伊勢志摩定住自立圏共生学』4科目の実施、『伊勢志摩定住自立圏共生学』へ

平成 26 年度事業計画

の自治体職員等社会人の受入れ実施（科目等履修生）

⑤「伊勢志摩共生学」実施、「伊勢志摩共生学実習 1～4」実施、「地域インターンシップ」実施（3 地域 30 名程度）

⑥『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目 1 及び科目 2 のテキスト作成編集会議開催（6 回）、テキスト発行（3 月）

II. 研究等

⑦研究開発推進センターの「プロジェクト研究部門」において、1）歴史文化観光資源領域、2）自然環境定住資源領域、3）地域経済・産業領域、4）地域福祉・教育資源領域の 4 つの領域で定住自立圏形成のための資源の総合化について研究を促進する。この研究内容を、『伊勢志摩定住自立圏共生学』等の教育プログラム内容の充実に活用する。

また、学生による地域課題解決研究として、『伊勢志摩定住自立圏共生学』等の本事業で開発した教育プログラムでの学修成果を踏まえた圏域の定住機能向上のための研究を「プロジェクト研究 I・II」において促進するための、卒業研究指導教員の支援体制を整備する。

III. 社会貢献

⑧平成 30 年度からの JM00C による講座配信のための授業撮影・編集

IV. 全体

⑨『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）の運営

⑩第 2 回本事業成果公表シンポジウム開催（9 月）

⑪自己点検・評価委員会の開催（5 月・3 月）

⑫外部評価委員委嘱、外部評価委員会開催（5 月・3 月）

⑬三年目事業報告書の作成・公表（3 月）

（29 年度）

I. 教育

①「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」開催（4 回）

『伊勢志摩定住自立圏共生学』4 科目の次年度授業計画（シラバス）作成／授業担当者確定／次年度社会人受講生募集要項等印刷物作成等

②圏域各エリア”Community Learning Labo (CLL)”における事業推進活動

③学部生対象『伊勢志摩定住自立圏共生学』（副専攻化）4 科目の実施、『伊勢志摩定住自立圏共生学』（履修証明プログラム化）への自治体職員等社会人の受入れ実施

④「伊勢志摩共生学」実施、「伊勢志摩共生学実習 1～4」実施、「地域インターンシップ」実施（4 地域 40 名程度）

⑤『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目 3 及び科目 4 の補助教材作成編集会議開催（6 回）、補助教材発行（3 月）

II. 研究等

⑥研究開発推進センターの「プロジェクト研究部門」において、1）歴史文化観光資源領域、2）自然環境定住資源領域、3）地域経済・産業領域、4）地域福祉・教育資源領域の 4 つの領域で定住自立圏形成のための資源の総合化について研究を促進する。この研究内容を、『伊勢志摩定住自立圏共生学』等の教育プログラム内容の充実に活用する。

また、学生による地域課題解決研究として、『伊勢志摩定住自立圏共生学』等の本事業で開

平成 26 年度事業計画

発した教育プログラムでの学修成果を踏まえた圏域の定住機能向上のための研究を「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」において促進するために、卒業研究指導教員の支援を行う。

Ⅲ. 社会貢献

- ⑦平成 30 年度からの JM00C による講座配信のための授業撮影・編集/2 ヶ年分の素材から配信番組作成

Ⅳ. 全体

- ⑧『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）の運営
- ⑨第 3 回本事業成果公表シンポジウム開催（9 月）
- ⑩自己点検・評価委員会の開催（5 月・3 月）
- ⑪外部評価委員委嘱、外部評価委員会開催（5 月・3 月）
- ⑫四年目事業報告書の作成・公表（3 月）

（30 年度）

Ⅰ. 教育

- ①「伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議」開催（6 回）
『伊勢志摩定住自立圏共生学』4 科目の次年度授業計画（シラバス）作成/授業担当者確定/次年度社会人受講生募集要項等印刷物作成等/補助期間終了の実施・推進体制再構築等
- ②圏域各エリア” Community Learning Labo (CLL)” における事業推進活動
- ③学部生対象『伊勢志摩定住自立圏共生学』（副専攻化）4 科目の実施、『伊勢志摩定住自立圏共生学』（履修証明プログラム化）への自治体職員等社会人の受入れ実施（科目等履修生）
- ④「伊勢志摩共生学」実施、「伊勢志摩共生学実習 1~4」実施、「地域インターンシップ」実施（5 地域 50 名程度）
- ⑤「プロジェクト研究Ⅰ」<3 年次>開講。（「プロジェクト研究Ⅱ」<4 年次>は平成 31 年度開講）

Ⅱ. 研究等

- ⑥伊勢志摩圏域における 4 領域のプロジェクト研究進捗状況及び研究成果を踏まえた次年度以降のプロジェクト研究推進体制の見直しと研究課題の設定を行う。
また、学生による地域課題解決研究として、『伊勢志摩定住自立圏共生学』等の本事業で開発した教育プログラムでの学修成果を踏まえた圏域の定住機能向上のための研究を「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」において促進するために、卒業研究指導教員の支援を行う。

Ⅲ. 社会貢献

- ⑦JM00C による『伊勢志摩定住自立圏共生学』のネット講座配信開始

Ⅳ. 全体

- ⑧『伊勢志摩定住自立圏共生学』ホームページ（仮称）の運営
- ⑨第 4 回本事業成果公表シンポジウム開催（9 月）
- ⑩自己点検・評価委員会の開催（5 月・3 月）
- ⑪外部評価委員委嘱、外部評価委員会開催（5 月・3 月）
- ⑫五年目事業報告書の作成・公表（3 月）